

道路せいそう

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-17-4 日本ロードビル3階

TEL 03-6435-1664 FAX 03-6435-1665

e-mail jimukyoku1@seisougijutsu.or.jpURL <http://www.seisougijutsu.or.jp/>

発行 一般社団法人日本道路清掃技術協会 (昭和41年設立 平成4年9月創刊)

理事長のご挨拶

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために発せられた緊急事態宣言下において、今年の定時総会も一堂に会することが出来ず書面による決議となりましたが、会員各位のご賛同を得て全議案が原案通り承認可決され、今期の運営を進めて参ることが出来ました。ありがとうございます。

特筆すべきことは理事改選期にあたり14年間にわたり事務局長を務めた中村理事、その後3年間、事務局長を務めた両角理事のお二人が同時に理事を退任され、新しく稲垣理事が事務局長の任に就き新体制でのスタートとなったことです。

退任されたお二人の理事にはこの紙面をお借りして、在任中のご功績に厚く御礼を申し上げます。

コロナ禍において、人流は抑制するよう政府から要請が出されますが、食品などの生活物資を運ぶことを止めることは出来ません。その為に当協会会員各社における道路清掃等業務につきましても新型コロナの影響をあまり受けることなく遂行していることと存じます。

そのような中、当協会の会員会社は令和元年、2年の2年間に台風19号や北陸地方豪雪などの多くの災害復旧の要請に対応、または待機指示に応え延べ人数にして2,000名を超える活動を行いました。

令和3年度に入り発生した静岡県熱海市の土石流災害にも会員会社が照明車、ポンプ車などの大型車両を災害現場に運び、現地にて被災者の救助活動の後方支援作業に従事しました。

近年、道路・橋梁などのインフラの老朽化に追い打ちを掛けるかのように気候変動からの極端気象による災害に加えて、いつ発生するか分からない地震・火山噴火と心配は尽きませんが、「備え」は出来る限り整えておくべきと考えます。

道路清掃は美観だけでなく、道路排水機能の維持に必要不可欠で道路冠水を未然に防ぐ重要な仕事であります。

同時に、災害時の緊急要請に応える人員を平時より確保するための重要な「備え」の役割を果たしている業務であります。

見た目は地味な作業の反復ですが、道路利用者や物流を支える生活密着型の重要な仕事であることを多くの人に理解されるように今期も活動して参ります。

関係各位のご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

理事長 亀田 丈司



両角前事務局長退任のご挨拶

オリンピック開催を目前に東京都は四度目の緊急事態宣言を発令し、とどまるところが知れないコロナ感染に、早期のワクチン接種が望まれているところですが、ここまで来たら何とか世界に向けてのオリンピック成功を示せればと祈るところです。

さて、前中村事務局長から事務局長職を引き継ぎ3年余りの期間でしたが、この5月26日の理事会をもって協会事務局長を退任いたしました。

事務局長としての仕事は、事業仕分けにより大幅に減少した清掃回数を何とか元の形に戻すことが第一の課題として、様々な取り組みをしてまいりました。中でも大切にすることは、まず、「道路とは？」ということでした。私も国交省時代から国道に関わってきましたが、これまで特に道路というものを深く考えたことはありませんでした。しかし、道路清掃を行うにあたって、道路とは何か？なぜ道路を清掃する必要があるのか？ということを考えるようになり、清掃の大切さを様々な場面で発注者に訴え続けてきました。現場の担当者もそのあたりはよく理解してくれましたし、整備局の道路管理課長も予算の要求を約束してくれましたが、結果はいまだに出ていません。厳しい予算内での道路清掃は、どうしたら認めてもらえるのでしょうか？

もう一つ、協会を運営していくうえで心掛けていたことがあります。それは、会員の皆様が、協会に属していて、メリットがあると感じられるような情報を発信することです。

私が在籍していた間には、路面清掃車の歩掛が変わったり、現場管理費の見直しがあったり、特に労務費は、中長期的な担い手確保のため毎年右肩上がりで伸びていましたので、いち早く会員の皆様に届けるように心掛けました。

近年では複数年発注が当たり前になってきていますので、こういった労務単価の伸びに対するスライド変更方法などの情報は、会員の皆様から高い評価をいただくことが出来ました。

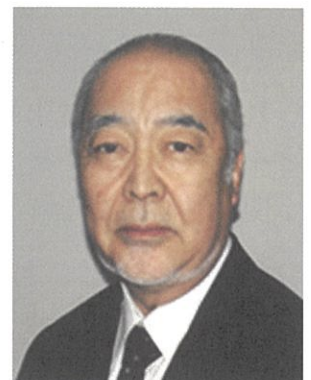
また、人材育成にも取り組みました。これは、前中村事務局長の発案で技術講習会と実技講習会を行いました。このため、講習会用に古いテキストを見直し、文頭に述べました「道路とは？」の項目や積算についての項目などを盛り込みました。受講者は年間2回の講習会を受講し、試験に合格すれば、「道路清掃技術者」として認定しました。現在は協会の認定制度ですが、将来的には公的に認定される制度として認められるように今後の事務局の検討を期待します。

事務局長時代は長かったようでとても短く感じ、道路清掃の頻度の復活、「道路清掃技術者」の確立、災害対応など、やらなければならない事をたくさん残してきたような気がします。特に近年では、異常気象による豪雨や土砂災害などが頻発しています。土砂を取り除いた後は、道路清掃の出番です！ここで、当協会の底力を示してください。

最後にこれからの日本道路清掃技術協会の益々の発展と今後のご活躍を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、ありがとうございました。



両角和嘉



稲垣新事務局長就任のご挨拶

5度目の緊急事態宣言発令中ではありましたが、東京オリンピックが開催され、日本選手が史上最高のメダル数を獲得し、無観客ではありましたが、選手の頑張りに胸が熱くなりました。

東京オリンピックは無事終了しましたが、コロナ陽性患者は過去最多の人数を日々更新しており、経済への影響も含め、日本はどうなってしなうのか、日々心配しているところです。

さて、令和3年5月26日の理事会におきまして事務局長を拝命し、6月11日の一般社団法人日本道路清掃技術協会定時総会において、正式に会員の皆様に紹介して頂きました。

前任の両角事務局長には、3年間、当協会を支えてこられたことに敬意を称しますとともに、今後、益々、ご健康に留意されましてご活躍されますことを祈念いたします。

両角前事務局長在任中には、国土交通省関東地方整備局と「道路清掃作業」に特化した災害協定を締結されるなど、長年の課題を解決して頂きました。

水害等災害時には、路面清掃車や側溝清掃車の派遣が各地方整備局を問わず、全国に派遣されています。

今までは、派遣される方々の立場や位置付けが不明確でしたが、今後は「身分証明書の発行」「緊急通行車両の登録」「災害活動実績に係る証明」など、目的、業務内容、実施範囲が明確になることで、安心して災害派遣することができるようになりました。

また、道路清掃技術者資格制度のためのテキスト作りにご尽力頂き、今後の資格制度の元となるものを作成頂きました。

これからは、両角前事務局長が築いた沢山の成果を礎に道路清掃の必要性を前面に押し出して、また災害時の応急復旧に必要な不可欠となる道路清掃業務を道路管理者に訴えて行く活動を強化し、道路清掃の重要性、頻度向上に取り組んで参ります。

そして、新たな取り組みとして、清掃事業の拡大を念頭に異分野との連携や清掃業務に関連はしますが、どの業界も手を出していない事業について、利益を確保しつつ社会に貢献できるような事業を模索していけたらと考えております。

ぜひ、皆様のご支援、ご協力をいただきまして、精一杯務めてまいりますので、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

事務局長 稲垣 孝



第1回 道路清掃技術協会合同部会が開催されました

令和3年7月29日に当協会の企画・広報部会と技術部会との今年度1回目の合同部会が開催されました。

合同部会では、

- ・今年度の活動計画
- ・道路清掃技術講習会の実施
- ・道路清掃技術者育成の今後の展開

などが話しあわれ、活発な議論がされました。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により講習会の開催が中止になるなど、協会の活動にも大きな影響がでました。

今年度も引き続き、新型コロナウイルスの状況に応じた行事予定及び活動計画について事務局からの説明がありました。

清掃技術講習会については、今年度もウィルス感染拡大の状況が更に悪化の傾向をたどっており、「時期の見直し」や「延期」などの意見が出され、今後の感染状況に応じた対応により、運営を進めることとなりました。

道路清掃技術者の育成については、路清掃技術を継続的に引き継いで行くことのできる、新たな技術者を育てるためには「魅力ある清掃技術者資格制度」の構築が必要との意見がだされ、構築にあたり骨格となるロードマップを作成し推進を図ることで意見が一致しました。

今回の部会を得て、今後、事務局ではこれらの作業を行い協会の事業を進めていきます。



ご存じですか「設計変更ガイドライン」

今回は、公共事業を受注者し施工を進めて行く中で、なかなか気が付かない大切な話しに触れてみたいと思います。

公共工事の受注に関して、平成26年に改正された品確法の基本理念には「請負契約の当事者が対等の立場における合意に基づいて公正な契約を適正な額の請負契約代金で締結」と示され、また、工事の「設計図書に適切に施工条件を明示するとともに、必要があると認められたときは適切に設計図書の変更及びこれに伴い必要となる請負代金、工期の変更を行うこと」と規定がされています。

公共事業を発注する国や自治体、独立行政法人、高速道路株式会社などでは、各所で品確法に基づいた「設計変更ガイドライン」を策定して運用を行っています。

「設計変更ガイドライン」は発注者と受注者の双方が、その内容や趣旨を良く理解して運用を図っていくために各発注機関がインターネットなどを利用し、様々な方法で情報の提供を行っています。

設計変更ガイドラインの大枠には

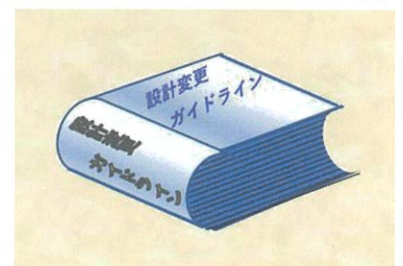
- 設計変更を円滑に行い、発注者と受注者間の双務性の確保されることにより生産性の向上を図ること。
- 受注者が当該契約に対して適切な利潤を確保することにより作業技術者（担い手）の育成と確保になどに繋げる。

などが盛り込まれており、これらを受注者と発注者の双方で理解をすることは基より、設計変更の持続きや変更内容に対する共通認識を持ち、設計変更を適切に実施するための決め事などを発注者と共有し工夫する必要もあります。

そのためには施工当初において、適切な設計図書の作成及び照査、条件明示などが必要であり、それらを基に施工条件の変化等に応じた設計変更が可能となります。

公共事業を受注し施工をしている現場技術者の方々をはじめ、関係する方々は、発注者が提示している「設計変更ガイドライン」の内容を良く確認し設計変更が可能か内容や手続き、方法や制度などを理解しておくことが大切です。

皆様も、今一度「設計変更ガイドライン」について確認をしてみてもいかがでしょうか。



熱海市土石流災害復旧支援状況

7月3日午前10時半ごろ熱海市伊豆山地区において、土石流により多くの人、住宅が巻き込まれる災害が発生しました。

即日、浜松河川国道事務所より災害派遣の要請があり、ポンプ車、照明車が熱海市へ向かいました。

災害発生当日の夜には熱海市に到着、投光器・照明車を用いて倒壊した住宅、土石流発生源などを照らす、自衛隊・消防・警察による捜索活動の後方支援を7月18日まで行いました。

現地は道幅が狭く、車両が行き来する中での作業であった為、車両同士の接触を避ける為に照明車のアウトリガーに赤色灯を取付けて視認性の確保に努めました。

木を2～3段挟んで照明車の据付けを行いました。

近年の気象変動により想定外の大規模な災害発生も考えられます。

今後とも有事の際には支援協力できるような体制づくりに努めてまいります。



現地の被災状況



現地の被災状況



照明車の据付状況



照明車による土石流発生源付近の監視状況

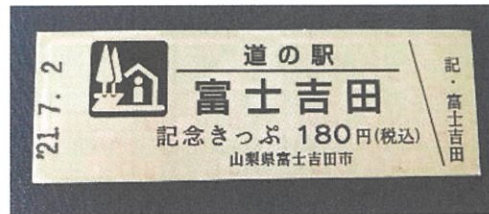


捜索活動箇所の投光器の設置状況



住宅倒壊箇所での投光器照射状況

『道の駅』探訪記 Vol. 9 : 道の駅 どうし・富士吉田



こんにちは！企画・広報部会の編集委員の『MOS (モス)』です！

今もなお終息しない新型コロナウイルス感染については、現在、緊急事態宣言が解除され、期待するワクチンも65歳以上の高齢者の方から順次、接種されているところです。

そして、一番の注目は、東京オリンピックが開催されるかどうかです。

(こちらの記事が発刊される時には、開催して無事に終わっている事を願うばかりです。)

今回はその東京オリンピックに関連する道の駅をご紹介させていただこうと思います。

最初に向かった道の駅は山梨県南都留郡道志村（国道413号線（道志みち））にある「道の駅どうし」です。



道の駅 どうし

オリンピック種目に自転車ロードレース（7月下旬開催）があり、道の駅どうしの目の前を選手たちが走り抜いていくようです。

周辺はとても自然豊かでキャンプ場や釣り場が多くあり、楽しそうワクワクしてきます。毎月のように魅力的なイベントが開催されているようですよ。

一番魅力的なのは、10月の「道志溪谷 芋煮会」ですね！きっと美味しいだろうなあ。

道の駅どうしのイベント情報	
6月	道志溪谷 鮎祭り
7月	道志溪谷 もろこし祭り
9月	道志溪谷 蕎麦祭り
10月	道志溪谷 芋煮会
11月	道志溪谷 いのしか祭り
12月	道志溪谷 餅つき大会
3月	道志溪谷 やまめ祭り

イベント情報一覧はこちら →



コースの413号線を車で走ってきましたが、アップダウンが多く、そのうえ、きつい峠を越えなくてはならず、ここを自転車で走るのかと思うと驚きで、信じられませんでした。

男性の自転車ロードレースはなんと244kmもの長距離を走るそうですよ！（スタートの調布市にある武蔵野の森公園から、ゴールの富士山の麓にある富士スピードウェイまで）しかも、スタートからの高低差が1000mもあるようです。

過酷なレースになること間違いなしですね。



次に向かった先は「道の駅富士吉田」です。一番の魅力は、富士山が真正面に眺めることができるのですが、残念ながら天候が悪く、富士山の雄姿を眺めることができませんでした。



道の駅 富士吉田



(天気が良ければこのように見えます!)

そして、もう一つの魅力は、富士山の湧水を無料で汲むことができます!

週末は水タンクを持ってきて汲みに来られる方が多く、行列になるそうですよ。

私たちもお土産用に持ってきたペットボトルに汲みました。

その場でも飲みましたが、冷たく、臭みもまったく無く、とても飲みやすかったですよ。

お土産に最適でおすすめなのが地ビール「ふじやまビール」です。道の駅エリア内にあるビール工場でピルス・ヴァイツェン・デュンケルの3種類、醸造されており、販売もしていました。



ふじやまビール

併設されているレストランで新鮮なビールを飲めるのですが、なかでも全3種を一度に楽しめる「ふじやまビール飲み比べセット」はとてもオススメです!どれも美味しかったなあ!

道の駅の売店に「吉田のうどん」のコーナーがあり、お昼に食べるものが全員一致ですぐに決まりました！

道の駅周辺には、富士吉田の有名な郷土料理「吉田のうどん」のお店が数多くあります。

なかでも特に有名なお店「みうらうどん」へ食べに行ってきました。

うどんのコシがかなり強く、歯ごたえがあり、あごが疲れるほどです。

まさに強度(郷土)料理ですね(笑) 味もダシがとてもおいしく、値段もお手頃価格で、編集員のMさんは家族旅行でまた食べに行こうと計画を考えていましたよ。



「吉田のうどん」のコーナー



みうらうどん



そして、次に向かった先は、世界文化遺産の富士山です！富士山登山まではしませんでした。が、「日本の道100選」に選ばれている、富士山有料道路「富士スバルライン」を走ってきました。

マイナスイオンたっぷりの山林を突き進み、マイカーで行ける富士山五号目まで行きました。

五合目(標高2,305m)まで行くと、やっぱり肌寒かったですね。

景色は一面真っ白な雲で覆われていて、まったく見えなかったのですが、晴れていれば見晴らしがとても良いと思いますよ！

富士山五合目簡易郵便局がありまして、ハガキを出すとここでしか押されない風景消印が押されるようなので旅の記念になって良さそうですよ！そして、売店で買って食べた富士山の形をした「富士山めろんぱん」美味しかったなあ！（いつまでも食べ飲み続けるMOSでした！）

『道の駅』探訪記、次号(遂にVol.10!)も是非またご愛読お願いします！



富士スバルライン



編集後記

6月から「日本道路清掃技術協会」の副事務局長になりました酒井と申します。

今までは、本誌を読ませていただく立場でしたが、今回から前両角事務局長より引き継ぎ、企画・編集・発刊までの作業担当を行うこととなり、前事務局長のご苦勞が非常にわかりました。大変ご苦勞様でした。

今後も読者の皆様には、より良い情報や話題などをお伝えさせていただくように努力をしてみたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

皆様からの情報、話題は随時受け付けておりますのでよろしくお願ひいたします。